

令和元年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」報告書

令和2年9月

隠岐の島町教育委員会

1. 点検・評価の趣旨等について

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項に基づき、教育委員会の権限に属する令和元年度の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表するところです。

(2) 点検・評価の対象

今回の点検・評価は、令和元年度の教育委員会の活動状況及び教育委員会の主要な事業に係るものです。

(3) 点検・評価の方法

教育委員会の活動状況及び教育行政に係る主要な事業について、所管する課及び公民館等が点検・評価を行うとともに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、隠岐の島町教育委員会事務評価委員会の評価を踏まえ、総合的に点検・評価した報告書を作成しました。

○ 隠岐の島町教育委員会事務評価委員会

委員長 角脇 一夫
副委員長 野津 真一
委員 中川 恵子
委員 小川 静香
委員 金田 洋二郎

事務評価委員会の開催状況

令和2年 7月31日
令和2年 8月 5日
令和2年 8月12日

2. 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の会議の開催状況

平成31年4月23日 定例会

隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

隠岐の島町教育委員会事務評価委員会委員の委嘱について

隠岐の島町社会教育委員の委嘱について

隠岐の島町立隠岐の島町屋内温水プール管理運営委員会委員の委嘱について

令和元年5月28日 定例会

隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

第2次子ども読書活動推計画の策定について

令和元年度教育行政の方針について

令和元年6月26日 定例会

平成30年度一般会計補正予算（第6号）について

令和元年度一般会計補正予算（第1号）に関する意見について

隠岐の島町教委振興事業補助金交付要綱の一部改正について

隠岐の島町ふるさと体験事業補助金交付要綱の制定について
隠岐の島町スポーツ推進審議会委員の委嘱について
隠岐の島町スポーツ推進委員の委嘱について

令和元年7月23日 定例会
消費税増に伴う施設利用料の条例改正について
隠岐の島町学校施設利用要綱の一部改正について
学校歯科医の委嘱について
令和2年度使用教科用図書の採択について

令和元年8月27日 定例会
令和元年度隠岐の島町一般会計補正予算（第2号）について
隠岐の島町屋内温水プールの利用料金について

令和元年9月30日 定例会
（審議事項なし）

令和元年10月30日 定例会
学校医の委嘱について
隠岐の島町学校給食費等の管理に関する条例管理規則の一部改正について

令和元年11月27日 定例会
令和元年度隠岐の島町一般会計補正予算（第3号）について
隠岐の島町総合体育館等（隠岐の島町総合運動公園含む）に係る指定管理者の選定について

令和元年12月5日 臨時会
平成30年度「教育に関する事務の管理及び執行状況点検・評価」報告書について

令和元年12月20日 定例会
隠岐の島町総合体育館設置及び管理条例施行規則の一部改正について
隠岐の島町教育委員会事務点検及び評価実施要綱の一部改正について
隠岐の島町教育委員会公印規程の一部改正について
隠岐の島町社会教育委員の解嘱について
隠岐の島町文化財保護審議会委員の解嘱について

令和元年12月27日 臨時会
隠岐の島町教育委員会教育長職務代理者の指名について

令和2年1月23日 定例会
隠岐の島町図書館設置及び管理条例施行規則の一部改正について

令和2年2月10日 臨時会
県費負担教職員の人事の内申について

令和2年2月26日 定例会
令和元年度一般会計補正予算（第4号）について

令和元年度一般会計補正予算（第5号）について
令和2年度一般会計当初予算について

令和2年2月28日 臨時会

新型コロナウイルス感染症対策のための小中学校における一斉臨時休業について

令和2年3月25日 定例会

隠岐の島町学校管理規則の一部改正について

隠岐の島町学校給食費等の管理に関する条例施行規則の一部改正について

隠岐の島町学校特別非常勤講師配置に係る派遣職員要綱の一部改正について

隠岐の島町学力向上指定研究事業補助金交付要綱の制定について

隠岐の島町歴史文化事業促進補助金交付要綱の一部改正について

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会訓令の整備に関する訓令の制定について

隠岐の島町教育魅力化統括プロデューサー設置要綱の廃止について

学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について

隠岐の島町社会教育委員の委嘱について

隠岐の島町文化財保護審議会委員の委嘱について

隠岐の島町スポーツ推進審議会委員の任命について

隠岐の島町立隠岐の島町屋内温水プール管理運営委員会委員の委嘱について

隠岐の島町立隠岐の島町図書館運営委員会委員の委嘱について

隠岐の島町総合体育館管理運営委員会委員の委嘱について

隠岐の島町スポーツ推進委員の委嘱について

隠岐の島町公民館運営審議会委員の委嘱について

(2) 総合教育会議の開催状況

令和元年12月27日

人事案件について

教育委員会の体制について

令和2年1月23日

第2次隠岐の島町総合振興計画について

教育大綱の策定について

令和2年2月26日

第2次隠岐の島町総合振興計画について

教育大綱の策定について

給食費の減額改定について

令和2年3月5日

新型コロナウイルス感染症対策のための小中学校における一斉臨時休校について

上記に関連した放課後児童クラブ等の活用による子どもの居場所の確保について

令和2年3月25日

新型コロナウイルス感染症対策について

令和2年4月1日の人事異動について

(3) 教育委員会の会議以外の活動状況

令和元年6月26日

北小学校訪問

学校経営、授業参観、給食試食

令和元年7月17日

島根県市町村教育委員会連合会理事会、総会、研修会等

3. 教育委員会の主要な事業の点検・評価

所管する課及び公民館等が選定した教育委員会の以下の事業について、点検・評価を行いました。

番号	事業名	予算科目	担 当
1	学校図書充実事業（学校司書配置事業）	教育指導費	総務学校教育課
2	英語指導事業（ALT 配置事業）	教育指導費	総務学校教育課
3	特別支援教育事業	教育指導費	総務学校教育課
4	教育振興事業（小学校）	小学校費 教育指導費	総務学校教育課
5	教育振興事業（中学校）	中学校費 教育指導費	総務学校教育課
6	高校魅力化事業	教育指導費	総務学校教育課
7	魅力ある学校づくり事業	教育指導費	総務学校教育課
8	有木小学校大規模改修事業	小学校費 学校施設費	総務学校教育課
9	小学校空調設備整備事業（繰越）	小学校費 学校施設費	総務学校教育課
10	中学校空調設備整備事業（繰越）	中学校費 学校施設費	総務学校教育課
11	学校給食調理事業	学校給食費	学校給食センター
12	青少年育成支援事業	社会教育総務費	社会教育課
13	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業	社会教育総務費	社会教育課
14	隠岐島文化会館管理運営事業	社会教育総務費	社会教育課
15	保健体育活動推進事業	保健体育総務費	社会教育課
16	総合運動公園管理運営事業	体育施設費	社会教育課
17	温水プール管理運営事業	体育施設費	社会教育課
18	図書館管理運営事業	社会教育施設費	社会教育課
19	文化財保存継承事業	文化財保護費	社会教育課
20	佐々木家住宅管理運営事業	文化財保護費	社会教育課
21	公民館活動振興事業 中央公民館	公民館費	中央公民館
22	公民館活動振興事業 布施公民館	公民館費	中央公民館
23	公民館活動振興事業 五箇公民館	公民館費	中央公民館
24	公民館活動振興事業 都万公民館	公民館費	中央公民館

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 1
事業名		学校図書充実事業				総務学校教育課	
予算額	21,776	決算額	20,330	財 源 内 訳			
				特定財源	11,816	一般財源	8,514

【1. 事業の目的】

学校図書館の「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能を充実させ、児童生徒の豊かな心を育むための読書活動の推進と、学ぶ力に繋がる情報活用能力の育成を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

【主な事業の概要（実績）】

- 学校司書雇用費（10校） 17,328 千円
- 図書館支援員雇用費（1校） 164 千円
- 学校司書研修費 62 千円
- 図書購入費 2,649 千円
- その他事務費 127 千円



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

学校司書等が配置された学校では、休憩時間に人がいることで図書館が子どもたちの居場所としての大きな役割を果たしました。

また、学校司書等と教員が連携を図り、情報収集など子どもたちが授業で活用するための図書の準備を進めることができました。

その他、図書館に配置する図書の選書や古い図書の廃棄を計画的に実施することができました。

(2) 今後の課題

全校での学校司書等の配置を目指しましたが、人員の確保ができません、1校は配置が出来ませんでした。学校司書等不在の学校図書館をサポートする体制作りが必要です。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 1
事業名		学校図書充実事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○学校図書雇用費の成果を計るために事業の評価について検討していただきたい。例として、子どもたちの読書活動がどの程度向上したのかについてのアンケート調査などをしてみてはどうか。</p> <p>○古い本の廃棄については、再利用を考えるなど有効活用していただきたい。</p> <p>○学校図書館の機能を充実するため、司書の研修や情報交換会を積極的に行っていただきたい。</p> <p>○司書の確保については、資格を保有する方の募集について、放送や広報などを活用することや学校に協力を求めるなど、人材発掘をお願いしたい。</p> <p>○司書が図書館に常駐することによって、子どもたちが安心して図書館を利用できるなどの成果もみられている。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○学校教育における図書司書の役割は大きく、司書の研修機会を増やすことで図書館機能の充実にもつながる。不在校については早急に対応をお願いしたい。</p> <p>○読書活動を充実するための一つの方策として、生徒会等の自主活動の支援がある。図書委員会等が目標を定め、全校児童生徒の協力で達成しようとする活動である。これらを学校通信や校報に掲載することで、さらに児童生徒の意識を高めていくことができる。</p> <p>教育委員会としては、このようなアイデアを各学校に紹介するのも一手だと思う。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

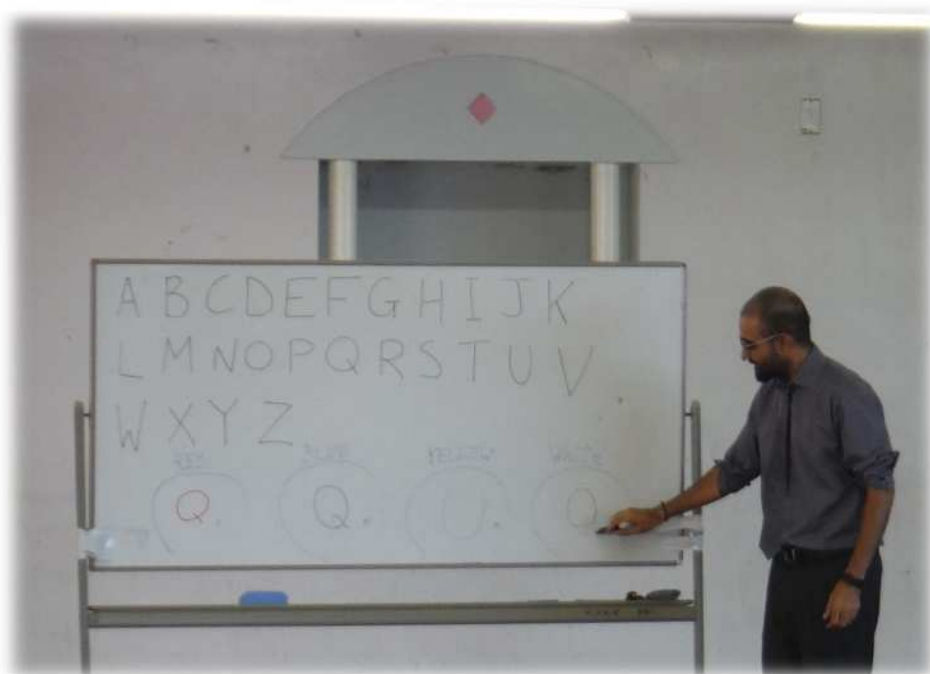
款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名	英語指導事業					総務学校教育課	
予算額	15,723	決算額	15,013	財 源 内 訳			
				特定財源		一般財源	15,013

【1. 事業の目的】

外国語指導助手（ALT）を各小・中学校へ派遣し、児童生徒の英語教育充実と国際理解の推進を図ります。
また、地域における国際交流活動への協力を行うことで住民の国際理解を深めていきます。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- ALT雇用費 3名 11,695 千円
- ALT小中学校派遣経費（移動交通費） 2,323 千円
- 事務費 995 千円
 - ・ 財自治体国際化協会負担金 514 千円
 - ・ 会議・研修旅費 182 千円
 - ・ 赴任旅費、事務消耗品他 299 千円



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

外国語指導助手（ALT）が授業に参加することで子どもたちが生きた英語を学び、自然な英会話活動を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができました。小学校においては、ALTが授業の補助に入ること、英語免許を持たない教員の負担や不安感を軽減するとともに円滑な授業運営が図られました。

また、ALTが学校にいることで、給食の時間や休み時間にも子どもたちと関わることもあり、授業とは違った形で文化や言語など出身国についての話題にも触れられ、異文化・国際理解にもつながりました。

(2) 今後の課題

円滑に英語の授業を実施するため、ALTと教員との連携の強化が必要です。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名		英語指導事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○AL Tの配置により小中学校の英語能力の向上とともに、子どもたちがAL Tと直接ふれあうことで国際理解に役立っている。また、町民の方々との文化交流も深まっている。 ○夏休みなどの長期休業中に、AL Tを活用した小学校教員の英語研修の機会を設けていただきたい。 ○小学校英語教育において、中学校英語教員の活用や地域の人材を活用できないか検討いただきたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○AL T活用のための研修会は必要だと思う。英語科や担当教員によっては、わずかな時間で打ち合わせをし、授業に入ることが多々ある。しっかりと打ち合わせた授業展開が、児童生徒の学力を今以上に伸ばすことは言うまでもない。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名	特別支援教育事業					総務学校教育課	
予算額	15,733	決算額	12,747	財 源 内 訳			
				特定財源	49	一般財源	12,698
<p>【1. 事業の目的】 児童生徒の特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに合わせた支援を行うことで、生活や学習上の困難を改善または克服します。 また、教育・保健・福祉の関係部局・関係機関と連携した相談体制を整備し、障がいのある子どもとその保護者に対し、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行います。</p> <p>【2. 主な事業の概要（実績）】 【主な事業の概要（実績）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別な支援のための支援員配置経費 10,270 千円 支援員配置（13名） ●特別支援教育コーディネーター配置経費 2,077 千円 ●隠岐の島町相談支援チーム活動経費 67 千円 相談件数（60件） ●隠岐教育支援委員会活動経費 164 千円 審査案件（隠岐の島町分23件） ●特別支援教育各種補助金 145 千円 隠岐特別支援教育連絡協議会補助金（なかよし大運動会） 58 千円 特別支援学級合同学習事業補助金 87 千円 ●その他事務費 24 千円 							
<p>【3. 事業の成果及び課題】</p> <p>(1) 事業の成果 支援を必要とする児童生徒を支援員が支援することで、当該児童生徒が学級の中で不安なく生活し、学習へも意欲的に取り組む姿勢が見られました。 相談支援チームの相談活動等により、的確な実態把握や適切な支援につなげることができました。 また、研修会を行うことで特別支援教育の理解と校内支援体制の充実が図られました。 特別支援教育コーディネーターが、保健師や隠岐養護学校と連携しながら保育所訪問等の活動を行うことで、早期の気付きや、保護者・保育士への適切な支援や、指導助言を行うことができました。</p> <p>(2) 今後の課題 相談支援チームへの相談件数は年々増えており、保護者や教職員の特別支援教育への理解関心の深まりが見られますが、これに対応するスタッフの人数は限られており、対応に苦慮しています。 また、支援員の配置が決定しても、支援員の確保が難しい状況が継続しています。</p>							

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名		特別支援教育事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○発達障がいのある児童生徒に対して、個々の実態に応じた特別な支援を行う支援員の役割は大きく、引き続き予算措置をお願いしたい。</p> <p>○支援員の配置については、予算の確保とともに各機関と連携し、人材確保に努めていただきたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○西郷小学校の知的の特別支援学級は、定員が8名で支援員を配置しても非常に厳しい状況にある。事業の目的にもあるように関係部局・関係機関と連携した相談体制を今一度点検・整備するとともに、相談支援チームを拡充するなどの支援が望まれる。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 4
事業名	教育振興事業（小学校）					総務学校教育課	
予算額	21,438	決算額	18,242	財 源 内 訳			
				特定財源	1,108	一般財源	17,134

【1. 事業の目的】

町立小学校7校の教育振興のために必要な教材等の整備費や、校内外の教育活動費、就学援助費・特別支援教育就学奨励に係る費用です。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 教材等整備費 9,611 千円
各小学校に対して、授業で使用する教材（標準教材・理振教材・特別支援教材）の購入等を行いました。
- いじめ対応支援事業 266 千円
児童にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。
- 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 8,053 千円
経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費を援助しました。



メッシュベスト



分数・小数 立体模型（理振教材）

【3. 事業の成果及び課題】

- (1) 事業の成果
小学校教育に必要な教材等の整備・補助をした結果、各校の実態・要望に応じた取組を行うことができました。
- (2) 今後の課題
国を挙げてのICT教育推進が叫ばれる中、ICT機器の整備を進めなければなりません、機器の維持管理等の負担を含め、計画的な整備が必要です。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 4
事業名		教育振興事業（小学校）				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT教育について、段階的な導入を検討していただきたい。また、研究指定校を設けるなどして、教員の研修等の拡充に努めていただきたい。 ○標準教材・理振教材・特別支援教材の配備は、授業の充実と子どもの学力向上のために各学校において有効に活用して欲しい。 ○就学援助費について、年々増加傾向にあると思われるが各学校長や事務職員に説明をしていただき、経済的困難な状況にあるなど真に援助の必要な家庭に対して支援をお願いしたい。 ○いじめ相談については、教育委員会として電話相談等の対応を検討していただきたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT教育に関する整備、活用法等については、先進的な取り組みがなされている島前の視察を含め、研修の機会を多く設定していただくとともに、その成果が少しでも早く子どもたちに還元されるようお願いしたい。 ○コロナ禍等の学習環境の変化にも応じられるようGIGAスクール構想におけるPC導入も含めて、ICT機器の整備計画を作成する必要がある。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 5
事業名	教育振興事業（中学校）					総務学校教育課	
予算額	20,650	決算額	17,590	財 源 内 訳			
				特定財源	243	一般財源	17,347

【1. 事業の目的】

町立中学校4校の教育振興のために必要な教材の整備費や校内外の教育活動費、就学援助費・特別支援教育就学奨励に係る費用です。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 教材等整備費 8,918 千円
各中学校に対して、授業で使用する教材（標準教材・理振教材・特別支援教材・指定教材）やパソコンの購入等を行いました。
- いじめ対応支援事業 207 千円
生徒にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。
- 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 7,886 千円
経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費を援助しました。



中学校教育用パソコン購入

【3. 事業の成果及び課題】

- (1) 事業の成果
中学校教育に必要な教材等の整備・補助をした結果、各校の実態・要望に応じた取組を行うことができました。
- (2) 今後の課題
国を挙げてのICT教育推進が叫ばれる中、ICT機器の整備を進めなければなりません、機器の維持管理等の負担を含め、計画的な整備が必要です。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 5
事業名	教育振興事業（中学校）					総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ I C T教育について、段階的な導入を検討していただきたい。また、研究指定校を設けるなどして、教員の研修等の拡充に努めていただきたい。 ○ 標準教材・理振教材・特別支援教材の配備は、授業の充実と子どもの学力向上のために各学校において有効に活用して欲しい。 ○ 就学援助費について、年々増加傾向にあると思われるが各学校長や事務職員に説明をしていただき、経済的困難な状況にあるなど真に援助の必要な家庭に対して支援をお願いしたい。 ○ いじめ相談については、教育委員会として電話相談等の対応を検討していただきたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ I C T教育に関する整備、活用法等については、先進的な取り組みがなされている島前の視察を含め、研修の機会を多く設定していただきたい。 その成果が少しでも早く子どもたちに還元されるようお願いしたい。 ○ I C T機器の導入を年次計画等で図っていただきたい。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名	高校魅力化事業					総務学校教育課	
予算額	17,188	決算額	17,188	財 源 内 訳			
				特定財源	9,200	一般財源	7,988

【1. 事業の目的】

コーディネーターを配置し、県立高校の魅力化事業を推進します。
 県外生徒確保のために重要な魅力の一つである寄宿舎の寮費助成、オープンスクール参加費の補助、
 教員数の減少に対応するため生徒の学力向上事業、部活動遠征費、研修旅行の助成を行います。

【2. 主な事業の概要（実績）】

【主な事業の概要（実績）】

- 高校魅力化コーディネーター配置経費 6,827 千円
 - コーディネーター 3名 5,923 千円
 - 事務費（研修費他） 904 千円



ジオパーク研究事前授業



ジオパーク研究フィールドワーク

- 県立高等学校魅力化事業補助金 9,626 千円
 - オープンスクール参加宿泊費補助（生徒42名、保護者41名） 797 千円
 - 学習支援補助（Classi利用料 202名、入試対策問題集購入 49点） 816 千円
 - 高校寮費等助成事業（対象者67名） 3,820 千円
 - 部活動遠征費補助（2,650円×87名、2,690円×105名） 513 千円
 - 研修旅行助成事業（生徒82名、引率10名） 3,680 千円



隠岐高校オープンスクール



隠岐水産高校オープンスクール



隠岐水産高校研修旅行

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
 隠岐高校に2名、隠岐水産高校に1名のコーディネーターを配置することにより、高校魅力化事業を推進しました。
 高校寄宿舎の寮費助成、オープンスクール参加費の補助を実施し、町外生徒の確保に努めました。隠岐高校12名、水産高校55名の町外生の受入れに寄与しました。
 教員数が減となっているため、生徒の学力向上のための学習支援補助としてClassi利用料の助成及び生徒の学力や志望校レベルの問題集購入費の助成を行うなど、学習環境の整備に寄与しています。
 また、部活動遠征に係る費用の一部について助成による保護者の負担軽減の他、研修旅行では大学でジオパーク学習の発表するなど高校の魅力アップを図りました。


(2) 今後の課題
 教育委員会以外の部署においても高校への支援を行う事業、補助金があります。現在実施している事業について、より効果的に事業実施ができるよう町の各担当課と調整する必要があります。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名		高校魅力化事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学校でICTの整備が予定されていることから、Classi利用について、小中学校でも活用を検討していただきたい。 ○高校魅力化事業によって、島外生徒の確保に大きく貢献している。今後とも各高等学校と協力し、町としての総合的な取り組みを進めていただきたい。 ○町内4校の中学生の地元高等学校への進学を勧めていただきたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校魅力化事業については、高等学校の取り組みに町が協力するというより、町も「我がこと」として捉え、協働する姿勢で取り組んでいただきたい。 ○地元高校の進学については、特に隠岐高等学校の現状を鑑みると何らかの方法で中学校側に協力依頼を検討いただきたい。例えば中学校長会や各中学校PTAへの申し入れ、校報やPTA広報での「地元高校への進学を進める記事」を掲載するなど、工夫していただきたい。 ○離島でも質の高い教育が受けられる学習環境の構築を進めていただきたい。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 7
事業名	魅力ある学校づくり事業					総務学校教育課	
予算額	35,328	決算額	30,861	財 源 内 訳			
				特定財源	25,715	一般財源	5,146
<p>【1. 事業の目的】 豪州マッキロップ校との交流事業により、町内の中学生・高校生の英語への興味拡大、語学力アップ、異文化交流による国際人の育英を目指します。児童数減少により複式学級が増加するため、非常勤講師を配置し、教育の質の向上を目指します。 ふるさと教育を推進するための移動に係る経費の支援を行います。中学校の各種大会参加に係る経費の補助、小中学校の修学旅行費の補助により、保護者の負担軽減を図ります。</p> <p>【2. 主な事業の概要（実績）】 【主な事業の概要（実績）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●統括プロデューサー配置経費 2,127 千円 ●豪州交流事業 1,500 千円 <ul style="list-style-type: none"> ホームステイ費補助（中学生3名、高校生17名受け入れ） 900 千円 ジオ学習、交流体験事業 600 千円  <ul style="list-style-type: none"> ●複式教育推進事業 6,512 千円 <ul style="list-style-type: none"> 非常勤講師賃金 ●ふるさと教育推進事業 499 千円 <ul style="list-style-type: none"> スクールバス臨時運行委託料 468 千円 タクシー借上料 31 千円 ●中学校各種大会参加費補助 11,555 千円 ●修学旅行費補助 7,661 千円 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 修学旅行費 児童 2,617 千円 小学校 修学旅行費 引率 143 千円 中学校 修学旅行費 生徒 4,547 千円 中学校 修学旅行費 引率 354 千円 <p>【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 豪州交流事業については、マッキロップ校の生徒が来島し、ホストファミリーや各中学校、高等学校との交流を行いました。英語への興味拡大と語学力アップ、異文化交流によるグローバルな人材育成に寄与しています。 複式学級を編成する学校に非常勤講師を配置することにより、複式学級担任教員の教材研究や、地域と連携した活動をするための打ち合わせの時間を確保することができました。 中学校各種大会参加費や修学旅行費の補助により、保護者の負担軽減が図られました。</p> <p>(2) 今後の課題 豪州交流事業において、ホストファミリーの確保が大きな課題です。ホストファミリーの不足のみならず、お互いの語学力を考慮したマッチングが難しく、より細かな調整が必要です。また、今後の事業の在り方について検討する必要があります。 児童生徒数の減少により、修学旅行の保護者負担額が増加しているとともに、学校間で保護者負担の格差が拡大しています。</p>							

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 7
事業名		魅力ある学校づくり事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○豪州交流事業については、費用対効果を考慮し、事業の見直しを検討していただきたい。</p> <p>○複式教育推進事業については、本来の目的としては、児童の学力向上に大きく貢献する事業であり、運営面について十分に留意していただきたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○豪州交流事業の見直しについては同意見である。</p> <p>○豪州交流事業は、子どもたちの視野を広げ、夢に挑戦できる機会を与える事業となるよう継続して欲しい。そのためにも、誰もがチャンスを活用できる手だてが必要である。</p> <p>○修学旅行の保護者負担の学校間での格差を解消していただきたい。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 8
事業名	有木小学校大規模改修事業					総務学校教育課	
予算額	381,857	決算額	208,863	財 源 内 訳			
				特定財源	208,787	一般財源	76
<p>【1. 事業の目的】 ※172,993千円を翌年度に繰り越し 有木小学校校舎、体育館の改修及び普通教室の空調設備を整備することで、安全快適な教育環境の整備を図ります。</p> <p>【2. 主な事業の概要（実績）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●有木小学校体育館改修工事 85,776 千円 建設工事一式 (A=682㎡ 外壁、防水、床、スロープ等) 電気設備工事一式 (幹線、電灯設備、火災報知器、音響設備等) 機械設備工事一式 (衛生器具設備、排水設備等) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ●有木小学校空調電気設備工事 15,471 千円 (受変電設備一式) ●有木小学校校舎改修工事（前払金のみ） 107,586 千円 建設工事一式 (校舎A=1,692㎡ 外壁、床、スロープ等) (仮設校舎A=262.99㎡) 電気設備工事一式 (幹線、電灯設備、火災報知器、音響設備等) 機械設備工事一式 (衛生器具設備、排水設備、空調設備等) ●事務費 31 千円 <p>【3. 事業の成果及び課題】</p> <p>(1) 事業の成果 空調を整備したことにより、児童の安全で快適な教育環境の確保が図られました。また、体育館の改修により、損なわれていた機能の回復及び安全性の向上が確保されました。 校舎改修工事においても、早期の竣工が望まれます。</p> <p>(2) 今後の課題 本事業については、設計段階から建築技師がいないため、検討不足により様々な影響がありました。設計段階から実施工を考えた工程やその工事が周囲に与える影響など考慮した対策工法を十分検討する必要があります。</p>							

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 8
事業名		有木小学校大規模改修事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空調の整備、体育館の改修等により児童の教育環境の改善を図ることが出来ている。 ○繰越事業部分の改修工事については、工事請負業者と協議のもと、早期の竣工を目指していただきたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 ○今後予想される改修工事について、しっかりと対応していただきたい。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 9
事業名	小学校空調設備整備事業（繰越）					総務学校教育課	
予算額	116,091	決算額	114,436	財 源 内 訳			
				特定財源	76,950	一般財源	37,486

【1. 事業の目的】

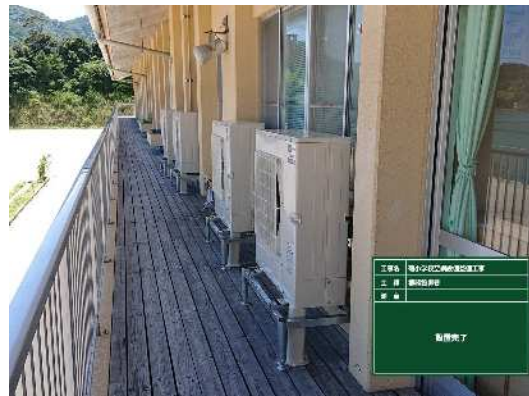
町内全小学校（7校）の普通教室へエアコン設置を行うことで、快適な教育環境の整備を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●小学校空調設備整備	114,275 千円	前年度工事費
・西郷小学校空調設備整備工事（普通教室 18室）	28,538 千円	（ 9,763 千円）
・磯小学校空調設備整備工事（普通教室 7室）	15,097 千円	（ 4,665 千円）
・北小学校空調設備整備工事（普通教室 6室）	8,807 千円	（ 4,018 千円）
・中条小学校空調機設置電気設備工事（普通教室 8室）	17,952 千円	（ 6,912 千円）
・有木小学校空調機設置電気設備工事（普通教室 8室）	7,806 千円	（ 7,408 千円）
・五箇小学校空調機設置電気設備工事（普通教室 7室）	20,475 千円	（ 6,912 千円）
・都万小学校空調機設置電気設備工事（普通教室 7室）	15,600 千円	（ 7,020 千円）
●事務費	162 千円	



磯小学校空調設備（室内）



磯小学校空調設備（室外）

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

夏季の熱中症対策として、町内全小学校（7校）の普通教室に冷房設備を整備し、児童の安全確保及び学習環境の改善が図れました。

(2) 今後の課題

設置時期が町内の小中学校全校同時であるため、今後の維持管理を計画的に進める必要があります。また、財政面での無理のない更新計画が必要となります。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 9
事業名		小学校空調設備整備事業（繰越）				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○普通教室のエアコンが整備されたことにより、快適な学習環境をつくることが出来ている。 ○新型コロナウイルス感染症対策として、換気等に充分心掛けるとともに、温暖化対策に配慮し、適切な温度管理について各学校へ指導すること。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 ○エアコンが整備されていない教室で授業を行う場合の対応については、しっかりと検討する必要がある。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 10
事業名	中学校空調設備整備事業（繰越）					総務学校教育課	
予算額	35,164	決算額	34,984	財 源 内 訳			
				特定財源	34,984	一般財源	0

【1. 事業の目的】

町内全中学校（4校）の普通教室へエアコン設置を行うことで、快適な教育環境の整備を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●中学校空調設備整備	34,853 千円	前年度工事費
・西郷中学校空調設備整備工事（普通教室 10室）	13,551 千円	（ 5,962 千円）
・西郷南中学校空調設備整備工事（普通教室 7室）	9,472 千円	（ 4,234 千円）
・五箇中学校空調設備整備工事（普通教室 4室）	5,832 千円	（ 2,289 千円）
・都万中学校空調設備整備工事（普通教室 5室）	5,998 千円	（ 2,376 千円）

●事務費 131 千円



西郷南中学校空調設備（室内）



西郷南中学校空調設備（室外）

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

夏季の熱中症対策として、町内全中学校（4校）の普通教室に冷房設備を整備し、生徒の安全確保及び学習環境の改善が図れました。

(2) 今後の課題


設置時期が町内の小中学校全校同時であるため、今後の維持管理を計画的に進める必要があります。また、財政面での無理のない更新計画が必要となります。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 10
事業名		中学校空調設備整備事業（繰越）				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>（1）評価の概要</p> <p>○普通教室のエアコンが整備されたことにより、快適な学習環境をつくることが出来ている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策として、換気等に充分心掛けるとともに、温暖化対策に配慮し、適切な温度管理について各学校へ指導すること。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p> <p>○エアコンが整備されていない教室で授業を行う場合の対応については、しっかりと検討する必要がある。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 11																																																
事業名	学校給食調理事業					学校給食センター																																																	
予算額	70,794	決算額	70,794	財 源 内 訳																																																			
				特定財源	68,927	一般財源	1,867																																																
<p>【1. 事業の目的】 学校給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供することにより、健康増進と体力の向上を図りながら、健全な心身を育むために、美味しく魅力ある給食を提供します。</p>																																																							
<p>【2. 主な事業の概要（実績）】</p> <table border="0"> <tr> <td>● 給食種別決算額：千円</td> <td></td> <td>● 提供人数：人／日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主食（米・パン）</td> <td>5,425</td> <td>小学校</td> <td>7校 757</td> </tr> <tr> <td>副食（その他）</td> <td>54,583</td> <td>中学校</td> <td>4校 390</td> </tr> <tr> <td>牛乳</td> <td>10,786</td> <td>養護学校</td> <td>1校 29</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>70,794</td> <td>給食センター</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>1,193</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>● 給食提供数：食／年</td> <td></td> <td>● 牛乳提供数：個／年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>132,188</td> <td>小学校</td> <td>131,557</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>66,722</td> <td>中学校</td> <td>65,941</td> </tr> <tr> <td>養護学校</td> <td>4,377</td> <td>養護学校</td> <td>4,416</td> </tr> <tr> <td>給食センター</td> <td>4,195</td> <td>給食センター</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>220,679</td> <td>計</td> <td>202,494</td> </tr> </table> <p>● ふるさと給食 地場産物を取り入れた「ふるさと給食」を月1回実施し、教材として活用しています。 ふるさと給食のメニュー</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>地元産のハマチを使用したフライです。</p> </div> </div> <p>● 地産地消の推進 給食センターと関係機関との情報交換会議を開催し、地場産物使用を推進します。 令和元年度地元産野菜使用率 16.00%・米使用率 100.00%</p>								● 給食種別決算額：千円		● 提供人数：人／日		主食（米・パン）	5,425	小学校	7校 757	副食（その他）	54,583	中学校	4校 390	牛乳	10,786	養護学校	1校 29	計	70,794	給食センター	17			計	1,193	● 給食提供数：食／年		● 牛乳提供数：個／年		小学校	132,188	小学校	131,557	中学校	66,722	中学校	65,941	養護学校	4,377	養護学校	4,416	給食センター	4,195	給食センター	580	計	220,679	計	202,494
● 給食種別決算額：千円		● 提供人数：人／日																																																					
主食（米・パン）	5,425	小学校	7校 757																																																				
副食（その他）	54,583	中学校	4校 390																																																				
牛乳	10,786	養護学校	1校 29																																																				
計	70,794	給食センター	17																																																				
		計	1,193																																																				
● 給食提供数：食／年		● 牛乳提供数：個／年																																																					
小学校	132,188	小学校	131,557																																																				
中学校	66,722	中学校	65,941																																																				
養護学校	4,377	養護学校	4,416																																																				
給食センター	4,195	給食センター	580																																																				
計	220,679	計	202,494																																																				
<p>【3. 事業の成果及び課題】</p> <p>(1) 事業の成果 児童・生徒に栄養バランスの取れた給食を提供することができました。 地場産物を使ったふるさと給食を実施し、地産地消の推進に寄与することができました。 隠岐産魚介類を給食に取り入れ、児童・生徒の魚食及び漁業への理解を深めることができました。</p> <p>(2) 今後の課題 調理事業は給食費と町の一般財源により運営していますが、給食費の未納があり年々滞納繰越費が増加しています。新たな未納者を作らない、未納額の年度内清算を図ること等、徴収整理を進めることが必要です。また食材費の高騰が続いているため、質を落とさないよう配慮しつつ、食材発注・メニューを工夫することも重要です。地場産物の使用についても、必要量が安定して確保できるよう関係機関との連携が重要です。</p>																																																							

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 11
事業名		学校給食調理事業				学校給食センター	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○ふるさと給食は、児童生徒の学校生活における良き思い出となる大変良い事業である。できる範囲で、ふるさと給食の機会を増やしていただきたい。</p> <p>○安全な学校給食を提供するため、衛生管理に十分配慮し、食中毒、異物混入の予防について委託業者への指導を徹底すること。</p> <p>○給食費の未納者への徴収対策については、未納者とともに返済計画を立案するなど回収に努めること。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○業者委託になっても質の高い給食を継続しており、この誇れる状況を継続していただきたい。</p> <p>○給食費の未納者対策については、文書だけでなく未納者に直接連絡することや学校側と具体的な協議の場を設けてもよいのではないかと。また、新型コロナウイルス感染症の影響により支払い困難者の増加が懸念される。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 12
事業名	青少年育成支援事業					社会教育課	
予算額	3,907	決算額	3,388	財 源 内 訳			
				特定財源	3,381	一般財源	7

【1. 事業の目的】

「離島」というハンディキャップの解消を図り、子どもたちのより活発な活動を促進していくことを目的とし、児童・生徒の島外遠征に係る渡航費用を助成します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- ・ がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業

【補助対象】

島外で開催される大会（全国規模の大会を除く。）、交流・練習試合などの島外遠征に係る渡航費

【補助金額】

航路旅客運賃助成事業補助金を適用し隠岐航路（往復）運賃の実費を助成するもの。

小学生（西郷～本土間） 3,020円以内
（西郷～島前間） 1,980円以内

中学生（西郷～本土間） 6,040円以内
（西郷～島前間） 3,940円以内

令和元年度交付決定者数(延べ人数) : 1,257人

交付決定者数の過去3年間の推移 (人)

	H29	H30	R1
小学生	960	860	837
中学生	321	281	420
合 計	1,281	1,141	1,257

交付金額総計の過去3年間の推移 (円)

	H29	H30	R1
合 計	2,646,680	2,399,410	3,387,240



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業は、スポーツ活動だけでなく文化活動においても町内の児童生徒のより活発な活動を支援するための制度として高く評価されています。令和元年度は中学生の交付件数が特に増え、交付金額の総計は前年比41%増となりました。また近年では、技術力が向上し島根県代表として全国大会へ出場する団体、個人も増えています。

(2) 今後の課題

本土への遠征については、宿泊を伴うことがほとんどであり、遠征にかかる費用は離島であるがゆえ、本土の子どもたちに比べ負担が多くなっています。渡航費（船代）以外の遠征費の支援についても早急に検討して、子どもたちのより活発な体育活動や文化活動の促進と、子育てに対する経済的な不安の軽減に繋がります。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 12
事業名		青少年育成支援事業				社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○島外遠征費補助事業については、離島のハンディキャップと少子化の影響により、子どもたちの文化・スポーツ活動が縮小される傾向の中で、子どもたちの健康で文化的な活動を支える事業として評価したい。現在は、往復の船賃を補助対象としているが、今後、宿泊費についても検討をお願いしたい。</p> <p>○島外遠征費については、本来、保護者負担とすべき性質のものである。大会への参加費とは別に、交流・練習試合までもが補助対象となっていることについては見直しの検討を要する。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○島外遠征費については、どこまでを補助対象にするのか検討は必要と思うが、ここに暮らす子どもたちは、本土の子どもたちに比べて、交流の機会も少なく負担も大きいのは確かであることからよい事業である。</p> <p>○中学校で部活動のない水泳、バドミントン、サッカーなどのクラブにとっては、中体連以外の体外試合に支援を受けることができるよい事業であり、成果も出ている。</p>							
<p>※印の項目については、記載しないこと。</p>							

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 13
事業名	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業					社会教育課	
予算額	4,379	決算額	4,101	財 源 内 訳			
				特定財源	2,633	一般財源	1,468

【1. 事業の目的】

地域と学校と家庭が連携・協働して、子どもたちの社会性や自主性、創造性等の豊かな人間性を育てます。

【2. 主な事業の概要（実績）】

結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業	4,101 千円
放課後子ども教室	2,914 千円
安全管理員を配置し放課後の子どもの居場所の確保	
学校支援事業（地域コーディネーター活用事業謝金）	918 千円
家庭支援事業	269 千円
小中学校入学前に「親学講座」を実施	

令和元年度 放課後子ども教室実施状況

地 区	教 室 名	開催日	開 催 場 所	開催日数	参加児童 (延べ人数)	安全管理員 (延べ人数)
西郷	いきいき子ども教室	月	総合体育館	25	642	89
中条	中条遊びランド	月	中条小学校	23	395	64
有木	まにの広場	月～金	有木小学校	50	794	163
磯	にこにこ広場	火	磯小学校	32	517	62
北	きたっこ広場	月	北小学校・布施公民館	27	233	49
五箇	学センわくわく広場	月 水	五箇生涯学習センター	55	1,470	361
都万	遊びと学びの広場	月 木	都万小学校・都万公民館	33	636	60



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

少子化、核家族化などの社会の変化に伴い、放課後に子どもたちが安心・安全に過ごせる場が減少していることから、放課後の子どもの居場所づくりを、地域と学校の連携・協働活動の一環として実施しました。一般的な「預かり保育」的な事業ではなく、主に学習や体験活動を行う事業として高く評価されています。

(2) 今後の課題

ボランティアとしてかかわる方々が高齢化し、活動に参画する人数が少なくなっています。学校・家庭・地域で目的や目標を共有して、より多くの、より幅広い層の地域住民の参画を進めていく必要があります。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 13
事業名	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○放課後子ども教室事業、学校支援事業の目的を踏まえ、安全管理員や学校支援コーディネーターの発掘など、人材確保に努めるとともに報償費の見直しについて検討いただきたい。</p> <p>また、放課後子ども教室は、子どもたちの居場所の確保とともに、楽しく活動する場となっているなど有意義な事業でもあるため、すべての地区で週2～3回の開催となるよう検討をお願いする。</p> <p>○親学講座については、就学前の保護者の研修に限られているが、更に幅広く、PTA全体の研修・講演会を行うなど実施を検討して欲しい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 14
事業名	隠岐島文化会館管理運営事業					社会教育課	
予算額	25,003	決算額	24,857	財 源 内 訳			
				特定財源	4,800	一般財源	20,057

【1. 事業の目的】

隠岐島文化会館を適正に管理運営し、町民の芸術文化活動の環境をつくります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

【事業の概要（実績）】

- 指定管理料 19,914 千円
 隠岐島文化会館を指定管理者である(公財)隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。
- 舞台照明調整卓更新 4,893 千円

主な実施事業

○鑑賞事業

事業名

映画上映	ドラえもん (3回)	入場者数	405名
	マスカレード・ホテル (2回)	入場者数	103名
	名探偵コナン (4回)	入場者数	435名
	名探偵ピカチュウ (2回)	入場者数	101名
	アラジン (4回)	入場者数	226名
	ミュウツー (2回)	入場者数	151名

○地域活性化事業

- ・隠岐乃国伝統芸能祭 隠岐神楽、蓮華会舞、久見神楽等
- ・文芸隠岐発刊事業
- ・隠岐島文化会館開館35周年記念事業

しまね映画塾	参加者数	150名
夏井いつき句会ライブ	入場者数	120名
つうコンサート	入場者数	300名

【しまね映画塾】



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

本町の芸術・文化の核となる施設として、多くの町民から利活用されています。多様で質の高い芸術文化の提供を目指しています。

(2) 今後の課題

イベント開催時の周知方法を工夫するなどして参加者を増やす方策について検討します。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 14
事業名		隠岐島文化会館管理運営事業				社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○地域活性化事業は、町民の文化伝統への関心を高めるとともに、これらの継承と発展に貢献する事業として評価したい。また、文芸隠岐の発刊は、教育文化振興財団の伝統的な事業であり、今後とも事業の継続、発展が望まれる。</p> <p>○教育文化振興財団は、隠岐島文化会館、総合運動公園（アリーナ）、図書館の指定管理者となっているが、財団としての本来の使命、役割が果たされているかについて、今後、検証していただきたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p> <p>○イベント開催周知については、工夫をしていただきたい。特に夏井いつき句会ライブは、もっと幅広く各学校等への呼びかけも必要であった。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 15
事業名	保健体育活動推進事業					社会教育課	
予算額	12,963	決算額	12,452	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	12,452

【1. 事業の目的】

社会体育活動の推進、活性化を図るため、関係団体への補助金交付等の支援を行います。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- つなGO隠岐の島実施事業委託料 開催日時：9月28日 900 千円
- 障がい者スポーツ振興事業委託料 246 千円
- 各種補助金等 6,377 千円
 - 隠岐の島町体育協会補助金 1,521 千円
15大会を開催 8地区体協へ補助金交付
 - 八角部屋隠岐合宿支援費 3,000 千円
日時：7月24日～28日 力士親方他50名
 - スサノオマジック関連事業補助金 126 千円
夢授業（プロ選手との交流を通じて夢や目標をもつ大切さを学ぶ）
北小学校 7月16日 29名 西郷小学校 7月17日 45名（5.6年生）
 - 隠岐少年武道大会活動補助金 1,300 千円
 - 隠岐郡陸上競技協会（法例外負担金） 349 千円
 - 県スポーツ推進委員協議会負担金等 55 千円
 - 県体育施設協会負担金 6 千円
 - スポーツ少年団活動費補助金 20 千円

〔八角部屋力士によるちびっ子相撲教室〕



〔つなGO隠岐の島：総合体育館〕



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

地域及び各種スポーツ団体の活動が活性化するよう、体育協会などへの支援を行っています。本町スポーツ観光大使でもある柳本品一氏の指導のもと健康づくりをテーマにした複合イベント「つなGO隠岐の島」が開催されました。

(2) 今後の課題

体育協会主催の大会について、競技団体のみで開催が可能な大会については順次事務を移管していきます。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 15
事業名		保健体育活動推進事業				社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つなGO隠岐の島実施事業について、短期間で開催する事業としては高額であることから、費用対効果を検証していただきたい。 ○体育協会補助金については、各地区の住民の健康体力づくりやコミュニティづくりに役立っていると評価する。 ○生涯スポーツの普及推進については、今後、予定されている生涯スポーツ推進計画の策定の中で、しっかりと検討していただきたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 ○一流の指導に触れる機会の少ない離島においては、つなGO隠岐の島等の事業は大切である。今後、どのスポーツを対象とするのかや参加者動員の方法については、工夫していく必要がある。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	体育施設費	所管課	No. 16
事業名	総合運動公園管理運営事業					社会教育課	
予算額	24,993	決算額	24,913	財 源 内 訳			
				特定財源		一般財源	24,913

【1. 事業の目的】

総合運動公園及び総合体育館を適正に管理運営し、町民の健康増進、スポーツの活性化が図りやすい環境をつくります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 指定管理料 24,184 千円
総合運動公園及び総合体育館の管理を指定管理者である（公財）隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。

《施設の利用状況》

隠岐の島町総合運動公園 〔単位：人〕

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
延べ人数	4,388	4,625	6,483	4,898	5,150	3,890

隠岐の島町総合体育館 〔単位：人〕

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
延べ人数	27,004	29,437	32,928	31,325	34,224	30,569

- 総合体育館冷却水ポンプ修繕工事 426 千円

〔障がい者スポーツ振興事業〕



〔ユニバーサルスポーツ交流会〕



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

本町のスポーツイベント開催時の核となる施設として、利活用されています。

(2) 今後の課題

町民のスポーツ推進はもちろんのことスポーツによる交流人口の拡大も視野に入れた取り組みも必要です。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	体育施設費	所管課	No. 16
事業名	総合運動公園管理運営事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合運動公園及び総合体育館については、町民のスポーツ活動の場として、様々なグループが活動しており、町民の健康体力づくりに貢献している。 ○総合運動公園管理事業については、町民の生涯スポーツの振興拡充のための事業を教育委員会と一緒に取り組んでいただきたい。 ○総合体育館における諸事業が、マンネリ化していないか点検・検討をしていただきたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 ○総合体育館は、スポーツイベントのみならず、文化・芸術など様々な分野での活用に期待している。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 17
事業名	温水プール管理運営事業					社会教育課	
予算額	10,607	決算額	10,549	財 源 内 訳			
				特定財源	24	一般財源	10,525

【1. 事業の目的】

屋内温水プールを適正に管理運営し、町民の健康増進を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 指定管理料 9,715 千円
指定管理者：㈱M I しまね

《施設の利用状況》 (延べ人数)

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
ビジター利用	5,008	5,060	3,952	4,240	4,492	4,570
会員利用	35,134	36,192	32,136	29,155	35,591	35,821
教育機関利用	1,637	1,648	1,508	1,512	1,466	1,455
その他利用	1,197	1,080	742	944	913	1,152
合計	42,976	43,980	38,338	35,851	42,462	42,998

- 温水プールチラー修繕費 810 千円

[令和元年度第13回隠岐の島町水泳競技会]



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

本町の健康増進の核施設としても幅広い年齢層に利活用されています。また、温水プール管理運営委員会を計画的に開催し、意見を伺いながら、適切な改善に取り組んでいます。

(2) 今後の課題

熱源機器（チラー）など高額な機器については耐用年数を見ながら計画的な機器の更新が必要です。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 17
事業名	温水プール管理運営事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○温水プールについては、幅広い年齢層に利用されており、町民の健康増進に寄与している。</p> <p>○施設も充実しており、利用者も増加傾向にあるが、更に広報に力を入れるなど、利用者の拡充を図っていただきたい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症により、経営の悪化が懸念されており、町としての支援を検討していただきたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 18
事業名	図書館管理運営事業					社会教育課	
予算額	44,958	決算額	43,818	財 源 内 訳			
				特定財源	2,000	一般財源	41,818

【1. 事業の目的】

住民の知る権利や学習の権利を保障する学びの場として、図書館機能の充実を目指します。生涯学習の拠点施設として、蔵書・資料の充実に努めるとともに、学校や地区公民館など関係機関と連携を図りながら、住民の読書環境の整備を進めていきます。「隠岐の島町図書館振興計画(平成30年12月公開)」の数値目標に基づき、蔵書等の整備を進めていきます。

【2. 主な事業の概要(実績)】

●隠岐の島町図書館管理運営事業

【決算額】 33,592千円

[事業費内訳] 図書館指定管理費 33,251千円

事務費(ブックスタート絵本、印刷製本費 他) 341千円

・年間入館者数 55,822人(前年比▲1,958人) ・貸出冊数 63,859冊(前年比▲3,915冊)

[主な事業]

- ・よるとしよ 3回実施 参加者 70人
- ・子ども読書の日スペシャル 1回実施 参加者 25人
- ・季節の行事 2回実施 参加者 111人
- ・図書館まつり 11月2~4、8~10日 参加者 2,638人



子ども読書の日スペシャル



図書館まつり(本のリサイクル市)



モンゴルの絵本作家講演会

●図書館資料費

【決算額】 6,180千円

[資料費内訳] 書籍、雑誌、新聞 4,681千円 AV資料 1,499千円

●図書館施設整備事業

【決算額】 3,025千円

[事業費内訳] (新)図書システム更新事業 595千円 委託先: 扶桑電通株式会社松江営業所

[事業費内訳] (新)ペレットボイラー外構工事請負費 2,430千円 請負先: (有)平木造園土木



(工事前写真)



(竣工写真)

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

- ・H26年度から指定管理者制度を導入し、適正な管理運営を図っています。(公財)隠岐の島町教育文化振興財団と基本協定(H29~R3年度)を締結し、運営、事業等を委託しています。また、図書館の管理運営を適正かつ円滑に行うため、年2回の図書館運営委員会を開催し協議を行っています。
- ・子どもの読書活動を推進するための町の指針となる「第2次子ども読書活動推進計画」を策定・公開(5月)しました。今後は、計画に基づき事業を実施するとともに一年毎に検証を行います。
- ・R2年2月に図書システムを全国有数のシステム(クラウド型)に更新したことにより、新たな技術・サービスが可能となり、図書館職員の負担軽減に繋がりました。また、保守・運用体制の強化が図られ、図書館へのサポート体制も強化されました(5箇年契約)。

(2) 今後の課題

- ・指定管理者制度導入後のメリット、デメリットを検証し、適正な管理運営の在り方について検討します。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 18
事業名		図書館管理運営事業				社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域課題解決のための郷土に関する資料整備について、引き続き努めていただきたい。また、地域課題に関する講座の実施や地域ニーズを調査し、町民の憩いの場・交流の場となるように施設の有効利用についても検討をお願いしたい。 ○町民の生涯学習施設として、利用者も増加傾向にあるなどその役割を果たしていると評価できる。 ○子ども読書活動推進計画を策定したことは、子どもの読書離れが危惧されている状況において、大変評価できる。 ○新図書システムについては、大変良いシステムであると評価され、このシステムを活用し、利用者を増やすためにも広報活動を更に積極的に進めていただきたい。 ○隠岐病院への図書の貸し出しについて、検討していただきたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 ○図書の蔵書数、経験を積まれた司書、学校図書館との連携の在り方など、質の高いものがあると感じている。今後も町民のニーズに寄り添いながら「自主自立のまちづくりの情報基地」としての役割を果たしていただきたい。 ○隠岐病院への図書の貸し出しについては、是非検討をお願いしたい。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 19
事業名	文化財保存継承事業					社会教育課	
予算額	27,111	決算額	25,447	財 源 内 訳			
				特定財源	8,597	一般財源	16,850

【1. 事業の目的】

文化財関係の保存、調査、関係事務調整のほか、指定文化財等への補助金交付事務など、文化財の保護・活用を行います。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●牛突き習俗保存対策事業

【決算額】 8,533千円

- ・突き牛導入費補助金（15件） 6,753千円 ※導入費の2/3 上限なし
- ・突き牛処分費補助金（18件） 1,260千円 ※処分1頭につき、7万円
- ・大会出場費補助金（52件） 520千円 ※1頭につき、1万円



●無形民俗文化財補助金交付事業

【決算額】 3,044千円

- ・対象：町内の指定無形民俗文化財保持団体（交付実績：18団体中13団体）※対象経費1/2以内

●指定文化財説明看板設置事業

【決算額】 1,163千円

- ・町内指定文化財（国14, 県24, 町35）に説明看板を計画的に新設、更新する（英語説明併記）。
- 【R1設置箇所】（国）玉若酢命神社, 水若酢神社本殿（県）世間桜, 平神社古墳, 都万目の民家（町）いぐり凧揚げ習俗, 中村海岸のクロマツ群

●（新）重文水若酢神社本殿美観向上整備事業

【決算額】 3,193千円

- ・水若酢神社の直轄工事とし、施工は請負工事として実施しました。
- ・技術指導は、（公財）文化財建造物保存技術協会（東京都）に委託。委託料：846千円
- 総事業費：23,952千円（国補助14,371千円、県補助3,193千円、町補助3,193千円、所有者負担3,195千円）

【契約名】 R1年度重要文化財水若酢神社本殿屋根葺き茅工事

【契約先】 株吉崎工務店 【契約方法】 随意契約

【契約額】 23,105,918円

【契約期間】 R1年7月2日～R2年3月31日 【竣工日】 R2年3月31日

【工事内容】 茅葺き屋根の茅材不良個所の差し茅



●（新）島後久見神楽殿保存修理事業

【決算額】 3,528千円

- ・島後久見神楽保持者会の直轄工事とし、施工は請負工事として実施しました。
- 総事業費：10,780千円（県補助3,723千円、町補助3,528千円、所有者負担3,529千円）

【契約名】 R1年度島後久見神楽殿保存修理工事

【契約先】 株金田建設 【契約方法】 指名競争入札

【契約額】 10,780,000円

【契約期間】 R1年9月18日～12月27日 【竣工日】 R1年12月27日

【工事内容】 解体工事、仮設工事、基礎工事、木工事、屋根板金工事、電気工事



【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

- ・「重文水若酢神社本殿美観向上整備事業」は、通常であれば保存修理事業として屋根の全面葺き替えと部分修理を実施する予定（以前は15～20年サイクルで葺き替えを実施）でしたが、文化庁の補助事業が認められなかったため（文化庁の示した葺き替え時期の目安：30年サイクル）、屋根の状態が悪い箇所のみを修繕する差し茅工事として事業を実施しました。
- ・県指定無形民俗文化財「島後久見神楽」を奉納する舞台の神楽殿は伊勢命神社境内に明治23年に建設されており、近年、老朽化が著しく維持管理が難しい状況になってきたため、大規模な改修工事を計画し実施しました。文化財保存事業費補助金の交付を受け事業を実施したことにより、新築工事ではなく建物の原形を保ち再利用できる材料はなるべく使用した保存改修工事としました。

（2）今後の課題

- ・補助事業申請者と事前に事業計画内容について、充分協議し補助金交付事業を実施する必要があります。特に突き牛導入及び処分費補助については、ここ数年、当初予算の予定数を超える申請数であるため、補助申請者等と充分協議し、計画的に突き牛の導入・処分を行っていただく必要があります。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 19
事業名	文化財保存継承事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本事業は、町の文化財や伝統、習俗等の保存継承に大きな役割を果たしている。 ○無形民俗文化財補助事業については、少子高齢化の中で、伝承困難な状況も見受けられ、継続した支援をお願いしたい。 ○指定文化財説明看板の設置については、文化財の歴史やその価値を町民や来島者が学ぶ上で、非常に効果的なものであり、計画的に増やしていただきたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの地域において、祭りなどの無形文化財に高校生が積極的に参加できるよう協議を進める必要がある。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 20
事業名	佐々木家住宅管理運営事業					社会教育課	
予算額	5,355	決算額	5,284	財 源 内 訳			
				特定財源	2,656	一般財源	2,628

【1. 事業の目的】

町所有の国指定重要文化財建造物「佐々木家住宅」の施設整備及び管理運営を行い、適切な文化財の保存・活用に努めます。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●年間入館者数：2,578人（前年比▲268人）

●年間入館料：853千円（前年比▲193千円）

※入館料金については、入館者数の増を目的に試験的に期間限定（R1年7月20日～継続中）で、値下げを実施しています。（料金 一般：411円→300円，18歳未満：無料）

●管理運営事業

【決算額】 2,510千円

・管理清掃費（305日）受託者：3名 1,812千円

・光熱水費・設備維持費 他 698千円

・東郷・今津神楽公演開催費 0千円

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

●重文 佐々木家住宅防災・耐震対策重点強化事業（2箇年継続事業）

【決算額】 2,774千円

（総事業費）10,864千円 （R1事業費）2,774千円 （H30事業費）8,090千円

（R1事業費負担）国庫補助額 1,803千円（65%），町負担額 971千円（35%）

（H30事業費負担）国庫補助額 5,257千円（65%），町負担額 2,833千円（35%）

【契約名】令和元年度重要文化財佐々木家住宅耐震診断業務委託

【契約先】（公財）文化財建造物保存技術協会（東京都）

【契約方法】随意契約（地方自治法施行令第167条の2第1項第2号）

【契約額】2,695,000円 【契約期間】R1年6月4日～12月25日 【完了日】R1年12月25日

【R1年度業務内容】構造補強案作成、概略構造補強費算定

【文化庁調査官指導旅費】東京～隠岐1泊2日（11/14～11/15）79,040円



（南側入口）



（北側屋根）

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

・耐震診断業務は、平成30～令和元年度の2箇年継続事業として実施しました。平成30年度に構造調査、地盤調査を実施し、構造診断を行いました。令和元年度は、前年度調査を基に構造補強案を策定するとともに概算補強費用の算定を行いました。この結果を基に令和2年度に保存修理事業に伴う国庫補助申請を行い、令和3年度に保存修理及び耐震対策工事を実施する予定です。

（2）今後の課題

・重文佐々木家住宅は、町所有の一般公開している施設ですが、年々入館者数が減少しています。改善策として、入館料金の改定、展示方法の見直しなどの検討を行います。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 20
事業名	佐々木家住宅管理運営事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○佐々木家住宅の入館に際して、もっと魅力ある方策を検討していただきたい。</p> <p>○また、重要文化財としての貴重な建造物であるが、住宅の老朽化が危惧される。耐震診断や地盤調査の結果を踏まえ、必要な保存修理工事を確実に実施していただきたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 21
事業名	公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館					中央公民館	
予算額	4,223	決算額	4,065	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	4,065

【1. 事業の目的】

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

公民館分館活動費（西郷41分館）

決算額 3,050千円



- ・各分館活動を行うため活動費を支援しました。
- ・分館連絡協議会を開催し、情報交換を行いました。
- ・各分館の要望により、講座講師の派遣を行いました。

まちづくり活動推進費

決算額 810千円



- ・隠岐の島町まちづくり運動協議会へ活動費を支援しました。
- ・隠岐の島町まちづくり運動協議会は、生活環境・ひとづくりの2部会で構成され、各部会とも積極的に活動をしています。
- ・新型コロナウイルス拡大防止のため、イベントが中止になった事業があり、大変残念でした。

中央公民館活動費

決算額 205千円

(親子で楽しむペーパークラフト)



- ・青少年、家庭教育など各方面の講座や事業を実施しました。
- ・高齢者講座は、あけぼの教室として、自主運営により事業の実施ができるよう支援しました。
- ・放課後子ども教室など、公民館が実動となって実施しました。

(英会話教室)

(あけぼの教室)

(洋食料理教室)



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

分館活動では、他分館の活動状況の情報を提供や、講師等の派遣及び、分館活動補助金の申請・実績報告書の提出の際には相談に乗り、助言等を行い、書類作成の補助も行った。まちづくり運動協議会では、中町目貫祭り・エコフェスタ等のイベント協力、アドベンチャー教室（1泊2日）については、島後南側周回コースを新設し、隠岐・美甘の子ども達を含め計21名が頑張って自転車で完走した。また、若者を中心とした実行委員会によるスリッパバスケットボール隠岐フェスを予定していたがコロナの影響により実施できなかったのが残念であった。

(2) 今後の課題

年度末から、新型コロナウイルスの影響で、地域のイベントや講座の開催が出来なかった。今後新しい生活様式に合わせたイベントや活動を考えていかなければならない。特に子どもの自然体験活動が熱中症や荒天時等で開催が困難な状況である。企画段階で綿密な打ち合わせが必要である。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 21
事業名	公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館					中央公民館	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○中央公民館については、社会教育の最前線として、町民の様々なサークル活動や学習活動が営まれており、多彩な文化芸術活動の活性化に寄与している。</p> <p>○分館活動費は、分館の活性化に大きな役割を果たしているが、その拠点となる中央公民館の活動費は、少ないのではないかとと思われる。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○子供会が衰退する中、難しい面もあるが体験不足が懸念される。青少年の自然体験や社会体験を網羅し、トータルとして保障する機会を教育委員会とともに立ち上げることが望まれる。</p> <p>○隠岐の自然を活かした学校の体験活動に教育委員会と連携して支援をして欲しい。また、まちづくり運動協議会との連携も活動に広がりができてよいと思う。</p> <p>○人権、環境、福祉、地域づくりなど現代的課題の研修会は、大事なことであるが、開催しても参加者が少ないというジレンマがある。しかし、教育行政としては避けて通れない課題であり、地区公民館と連携し、定期的な学習機会を設けていただきたい。</p> <p>○Withコロナの時代となり、各所ともに配慮と対応に苦慮していることが伺える。今後も十分な対策のもとで、子どもたちの学びや体験の機会を確保していただきたい。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 22
事業名	公民館活動振興事業 (2/4) -布施公民館-					布施公民館	
予算額	1,333	決算額	1,181	財 源 内 訳			
				国庫支出金等	124	一般財源	1,057

【1. 事業の目的】

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティー活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 公民館分館活動費（布施3分館・中村9分館） 決算額 798千円
 - ・分館活動の活性化を促すための活動を支援しました。
 - ・分館長会議を開催し、情報交換を行いました。

- 布施地区館活動費 決算額 183千円
 - ・各種講座・教室、その他活動を20回行いました。
 - ・学校支援地域本部事業、放課後子ども教室など、公民館が実働となって実施しました。
 - ・立志式の開催
令和2年2月1日に5名の立志式を開催しました。



高齢者のための
運転講座



わら細工



立志式

- まちづくり活動推進費 決算額 76千円
 - ・まちづくり活動推進に寄与する浄土ヶ浦祭や花いっぱい運動への助成を行いました。
 - ・布施少年育成連絡協議会（ふせ塾）の活動への助成を行いました。



布施の手作り文化祭



とんど焼き

- ふるさと自然体験活動費 決算額 124千円
 - ・北小学校のサマー合宿へ活動支援を行いました。



サマー合宿



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

各分館活動では、分館長会議を開催して活動内容や地域課題について話し合い、活動に活かすことができた。各種講座の開催については、地域の要望に配慮し開催することができ、地域との連携が図れた。文化祭は浄土ヶ浦祭と同時開催することで、地区外の皆様も多く見られ異世代の交流が図られた。また、各種団体の作品を展示することで地域の方々の交流も図ることができた。北小のサマー合宿については、布施地域の自然体験や地域の方々との交流を深め、活性化にも寄与することができた。

(2) 今後の課題

年度末から、新型コロナウイルスの影響で、地域のイベントや講座の開催が出来なかった。今後新しい生活様式に合わせたイベントや活動を考えていかなければならない。特に子どもの自然体験活動が熱中症や荒天時等で開催が困難な状況である。企画段階で綿密な打ち合わせが必要である。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No.	22
事業名	公民館活動振興事業 (2/4) -布施公民館-					布施公民館		
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中村・布施地区の地域性を大切にして、各種講座、教室など積極的な活動がされている。 ○青少年育成のための自然体験活動や、立志式など郷土を愛する活動にも継続的に取り組まれている。 ○布施公民館については、2名の職員配置となっているが、中村・布施地区といった2地区の公民館としては、3名の配置が望ましいのではないかとと思われる。 								
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供会が衰退する中、難しい面もあるが体験不足が懸念される。青少年の自然体験や社会体験を網羅し、トータルとして保障する機会を教育委員会とともに立ち上げることが望まれる。 ○隠岐の自然を活かした学校の体験活動に教育委員会と連携して支援をして欲しい。また、まちづくり運動協議会との連携も活動に広がりができてよいと思う。 ○人権、環境、福祉、地域づくりなど現代的課題の研修会は、大事なことであるが、開催しても参加者が少ないというジレンマがある。しかし、教育行政としては避けて通れない課題であり、地区公民館と連携し、定期的な学習機会を設けていただきたい。 ○Withコロナの時代となり、各所ともに配慮と対応に苦慮していることが伺える。今後も十分な対策のもとで、子どもたちの学びや体験の機会を確保していただきたい。 								

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 23
事業名	公民館活動振興事業(3/4) -五箇公民館-					五箇生涯学習センター	
予算額	1,522	決算額	1,332	財 源 内 訳			
				特定財源		一般財源	1,332

【1. 事業の目的】

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●公民館分館活動費（分館美化活動）

決算額 842千円



- ・分館活動を支援しました。
- ・分館長会議を開催し活動内容・活動費の使途など協議しました。
- ・分館どうしの情報交換が図られるよう心がけました。
- ・分館長会議に併せて、隠岐の島町まちづくり運動協議会地区推進連絡協議会を開催し、活動内容など周知を図りました。

●まちづくり活動推進費（冬期体力づくり教室）

決算額 297千円



- ・第53回冬期体力づくり教室（寒稽古）では、「冬の体力づくりを通して心と体を鍛えよう」を目標に実施し、体力づくりを通して心と体を鍛え、「あいさつの向上」「開始時刻厳守の徹底」も行うことが出来ました。

期間：令和2年1月19日から1月25日 早朝

種目：柔道、剣道、ジョギング、卓球、サッカー、ソフトバレー

●幸齢者ふるさと学園活動費

決算額 43千円



- ・高齢者講座は、幸齢者ふるさと学園と題し、実行委員会方式で計画、実施しました。
- ・町内在住の60歳以上の方を対象に6回の教室を開催しました。
- ・参加者には概ね好評ですが、公開講座方式のため教室によっては参加人数が少数の時があったことが課題です。

●五箇公民館活動費（どんと祭り）

決算額 90千円



- ・文化祭（どんと祭り文化部門を担当）を開催しました。

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

分館活動を促進するために、分館長会議を開催し、支援を行いました。高齢者事業は、高齢者自身が計画した事業を実施しました。文化祭を開催し、作品や活動の状況などをホールに展示しました。また、町立図書館と連携して配本を図書室と五箇診療所に配置し、利用される方の利便性向上を図っています。

(2) 今後の課題

年度末から、新型コロナウイルスの影響で、地域のイベントや講座の開催が出来なかった。今後新しい生活様式に合わせたイベントや活動を考えていかなければならない。特に子どもの自然体験活動が熱中症や荒天時等で開催が困難な状況である。企画段階で綿密な打ち合わせが必要である。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No.	23
事業名		公民館活動振興事業(3/4) -五箇公民館-				五箇生涯学習センター		
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幸齢者ふるさと学園については、郷土の題材を基にした学習を提供しており、魅力ある事業として評価できる。 ○冬期体力づくり教室は、五箇地区の伝統的な活動で、地域住民の心身の鍛錬とともに地域のコミュニティづくりにも効果的であり、今後も継続していただきたい。 ○どんと祭りにおいて、文化祭を開催することで、地域住民の学習成果や日頃の文化活動の成果を発表する場を提供しており、町民の文化活動への意欲関心を高めるものである。 								
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供会が衰退する中、難しい面もあるが体験不足が懸念される。青少年の自然体験や社会体験を網羅し、トータルとして保障する機会を教育委員会とともに立ち上げることが望まれる。 ○隠岐の自然を活かした学校の体験活動に教育委員会と連携して支援をして欲しい。また、まちづくり運動協議会との連携も活動に広がりができてよいと思う。 ○人権、環境、福祉、地域づくりなど現代的課題の研修会は、大事なことであるが、開催しても参加者が少ないというジレンマがある。しかし、教育行政としては避けて通れない課題であり、地区公民館と連携し、定期的な学習機会を設けていただきたい。 ○Withコロナの時代となり、各所ともに配慮と対応に苦慮していることが伺える。今後も十分な対策のもとで、子どもたちの学びや体験の機会を確保していただきたい。 								

※印の項目については、記載しないこと。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 24
事業名	公民館活動振興事業（4/4）－都万公民館－					都万公民館	
予算額	1,831	決算額	1,547	財 源 内 訳			
				特定財源	130	一般財源	1,417

【事業の目的】

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティー活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【主な事業の概要（実績）】

公民館分館活動費（都万14分館）	決算額	1,173 千円
都万青少年育成事業	決算額	100 千円
都万公民館活動費	決算額	274 千円



お楽しみクッキング



美文字講座



協働のまちづくり事業
（都万小学校キャンプ）



図書事業



「都万笑福館」ジオパーク学習



協働のまちづくり事業
（都万中学校キャンプ）



シニア向けスマートフォン講座



都万文化祭

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

- ・都万高齢者教室「都万笑福館」は元気な高齢者が集う良い機会の提供ができました。今後も継続する予定です。
- ・公民館講座はスマホ講座、お楽しみクッキング、美文字講座を行いました。また、地域で活動するグループと連携し、体験教室を行う予定でしたが天候不良等で実施することができませんでした。
- ・分館活動ができるだけ円滑に実施できるよう支援しました。
- ・協働のまちづくり事業の採択を受け都万小、都万中のキャンプを行いました。学校との連携にさらに努めます。

（2）今後の課題

年度末から、新型コロナウイルスの影響で、地域のイベントや講座の開催が出来なかった。今後新しい生活様式に合わせたイベントや活動を考えていかなければならない。特に子どもの自然体験活動が熱中症や荒天時等で開催が困難な状況である。企画段階で綿密な打ち合わせが必要である。

令和元年度 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No.	24
事業名		公民館活動振興事業（4/4）－都万公民館－				都万公民館		
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>（1）評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもから高齢者まで、幅広い年齢層を対象とした文化的な事業を行い、地域コミュニティの進展にも実績を挙げている。 ○都万地区の小中学校及び地域住民と連携し、野外体験活動を実施したことは、子どもたちに自然を愛し、心を育むよい機会となっている。 ○現代社会の要請に基づいた多様な活動を行っており、地域住民の生涯学習の充実に努めている。 								
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供会が衰退する中、難しい面もあるが体験不足が懸念される。青少年の自然体験や社会体験を網羅し、トータルとして保障する機会を教育委員会とともに立ち上げることが望まれる。 ○隠岐の自然を活かした学校の体験活動に教育委員会と連携して支援をして欲しい。また、まちづくり運動協議会との連携も活動に広がりができてよいと思う。 ○人権、環境、福祉、地域づくりなど現代的課題の研修会は、大事なことであるが、開催しても参加者が少ないというジレンマがある。しかし、教育行政としては避けて通れない課題であり、地区公民館と連携し、定期的な学習機会を設けていただきたい。 ○Withコロナの時代となり、各所ともに配慮と対応に苦慮していることが伺える。今後も十分な対策のもとで、子どもたちの学びや体験の機会を確保していただきたい。 								

※印の項目については、記載しないこと。